

■金沢星稜大学 2026 年度選抜 基礎学力検査 出題の意図

高校までの学習を踏まえ、本学における学修に必要とされる基礎的な学力（基礎的知識及びそれを活用した思考力・判断力・表現力）を評価することを目的として、平成 30 年 7 月改定の高等学校学習指導要領に基づき、国語については「現代の国語」、英語については「英語コミュニケーションⅠ」、数学については「数学Ⅰ」を出題範囲とし、各科目分野につき 30 分、合計 90 分で解答する形式となっています。

出題内容は、各教科の基礎的内容を通して、既存の知識の理解にとどまらず、情報を正確に読み取り整理する力並びに論理的に思考し結論を導く力をみるとともに、日常生活や社会の事象と関連付けて捉えることのできる基礎的な応用力についても確認する内容となっています。

国語においては、社説やコラム等の文章及び評論文（説明的文章）を素材として、漢字の読み書きや語句に関する知識、文脈に応じた語句の類推、文章の内容理解や論理の流れの把握等の基礎的な読解力をみる内容となっています。

英語においては、発音・語彙及び文法に関する基礎的知識に加え、日常的な題材を扱った英文の読解、会話文の理解、語句整序等を通して、情報を的確に読み取り文脈に応じて適切に理解する力をみる内容となっています。

数学においては、「数と式」「集合と命題」「二次関数」「データの分析」の各分野を中心として、基本的な計算技能及び数学の基礎的な理解に加え、条件を読み取り整理し、論理的に思考して答えを導く力をみる内容となっています。

これらを通して、大学での学修に接続する基礎的な思考力・判断力・表現力を評価する内容となっています。